

特定非営利活動（NPO）法人ちばサイエンスの会

■会の概要

「ちばサイエンスの会」は、科学教育に関する事業を行い、豊かな地域文化の創造に寄与することを目的として、科学好きの市民や小中学校や大学の教員等が集まり、2001年7月7日に任意団体として発足し、2003年2月に「特定非営利活動法人」の認証交付を受け、法人登記を完了し、「特定非営利活動法人ちばサイエンスの会」として現在に至ります。

近年、科学の役割が拡大しています。会員が協力連携し、科学教育の普及事業という形で地域社会に積極的に発信・普及し、豊かで文化的な市民社会の発展に貢献したいと考えます。また、次代を担う子供たちにとって、豊かで多彩な科学的センスの涵養が必須であるにもかかわらず、昨今言われている「理科離れ」は、それに逆行するものです。「子供は本来理科好き」をモットーに、子供たちに対する科学教育普及事業にも熱意と工夫をもって取り組んでいます。

■活動実績

1、地域の活性化への貢献

日本のロケット開発は、糸川英夫博士の研究グループにより、1954年、東京大学生産技術研究所（西千葉）でスタートしました。「千葉は日本のロケット開発の発祥の地」であることの啓蒙普及のため、毎年7月千葉大学を会場に、アルミ缶ロケットを自作し打ち上げ体験をしています。

2、科学教育に関する普及事業

- (1) 科学工作「電子工作～さえする小鳥」、「竹とんぼ」、「手作りラジオ」など
- (2) 自然観察「四季の自然観察会～森の玉手箱」、「アース探検隊」など
- (3) 体験会「子どもミュージカル体験会」

3、科学館、公民館、学校などの要請に応える協力事業

- (1) 千葉市および千葉市科学館主催事業への協力
火星ローバーコンテストの運営協力、科学フェスティバル等にワークショップを出店。
- (2) 公民館等講師派遣

4、広報活動

- (1) 会報発行 年3号
- (2) ホームページ 「WEBちばサイくん」 <http://chibasai.pro.tok2.com/>

■会員数と役員

現会員数 230名。

本会名誉会長は、JAXA（宇宙航空研究開発機構）名誉教授の川泰宣。

理事長は、千葉大学名誉教授の貫井正納、以下理事9名、監事2名